



2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. NOVEMBER

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

イベント開催概要・レースレポート

■開催概要

- 大会名称 : FUN & RUN! 2-Wheels Full Course Special IN SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット／フルコース (5.821km)
- 開催日・天候 : 11月11日(土)・晴れ
- 主催者 : ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 <https://www.suzukacircuit.jp>
- 開催クラス : ★総参加台数／150台
 - FUN & RUN Mix Small／EXPERT 19台
 - FUN & RUN Mix Big／EXPERT 27台
 - NEO STANDARD<CBR250R／VTR250> 17台
 - NEO STANDARD<G310R> 47台
 - NEO STANDARD<Ninja250R／YZF-R25> 40台



★レースリザルトはインターネットでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_s/



★レース写真は、バトルファクトリー様のHPで
ご購入いただけます。
<http://www.battle.co.jp/race/top.htm>

※2023年FUN&RUN! 2-Wheelsは、この大会でシリーズ日程を終了いたしました。
2024年の開催につきましては、別途あらためてご案内いたしますので、引き続きよろしくお願いいたします。





2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. NOVEMBER

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

開催クラス紹介

【NEO STANDARD】

現在、各社から発売されている、手頃な車両価格で最も人気の高い4ストローク250ccマシンによるエントリークラス。カワサキNinja250R、ホンダVTR250、ホンダCBR250R、YZF-R25、BMW G310Rの5車種にクラス分けされています。スプリントレースでありながら、途中ライダー交代またはピットインが必要となります。また、チームエントリーでシリーズ戦として開催し、車両別となったカテゴリでのチャンピオンが決定するのも人気の理由。ライダーを1大会2名まで登録することができ、チームとしても楽しめる、経済的なクラスとなっています。

●参加車両例

カワサキNinja250R ホンダVTR250 ホンダCBR250R ヤマハYZF-R25 BMW G310R

【FUN&RUN Mix Big】

「Mix Big」は、国内外のV型2気筒エンジン搭載車と一般生産型の車両で4ストローク401cc以上のマシンなら何でも参加可能なクラス。国内外メーカーのツインバイク、そしてビッグネイキッドが一堂に会するレースは迫力が違います。特に「C-OPEN」クラスは、排気量が2ストローク251cc/4ストローク401cc以上でホイールサイズが16インチ以上であればどんな車両でも参加可能なクラスです。

●参加車両例

ホンダ CBR1000RR ホンダ CB1300SF ホンダ VTR1000SP1 ヤマハYZF-R6 ヤマハXJR1300
スズキ GSX-R600 スズキ GSF1200 カワサキ GPZ900 ドゥカティ 999S ドゥカティ 1098S
アブリリア RSV1000R

【FUN&RUN Mix Small】

いわゆるシングルや小排気量車、すなわち排気量が2st250cc/4st 400cc以下で、ホイールサイズが16インチ以上の一般生産型市販車、単気筒および2気筒エンジンを搭載するバイク、そして400cc以下と 2ストローク250ccの公道用一般車両が対象。一世を風靡したレーサーレプリカなど個性的なバイクが参加します。排気量と気筒数により、Small I、Small IIと参加車両のカテゴリが分かれています。

●参加車両例

ホンダ NSR250SE ヤマハ TZR250RS ヤマハ SRX600 スズキ SV400S
ホンダ CBR400RR カワサキZXR400R





2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. NOVEMBER

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

イベント全体概要報告

参加型レースイベント“ファンラン”の25周年が 年に一度の「Full Course Special」で無事終了!

「みんなで走ってバイクをもっと楽しもう!!」をコンセプトとする参加型レースイベントが「FUN & RUN! 2-Wheels (通称“ファンラン”)」だ。9月2日(土)に開催された第3戦から数えること約2か月。その“ファンラン”の2023年シーズン最終戦が開催された。

年に一度の「Full Course Special」として行われた今回は、昨今の“ファンラン”でもっとも注目を集めているカテゴリーのひとつである「NEO STANDARD」の他、小排気量マシンによる「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」、大排気量マシンでのエントラントを対象とする「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」と3カテゴリーのレース競技が行われた。

「NEO STANDARD」は参戦マシンが比較的リーズナブルな価格帯で販売されており、参戦しやすいことに加え、スプリントレースでありながらレース途中でのライダー交代またはピットインが義務付けられるという、セミ耐久のような楽しみ方ができる点も魅力。このカテゴリーは今回のレースで2023シーズンのチャンピオンが決定するというので、いつも以上にバトルが白熱するなど、見どころが多かった。なお、「NEO STANDARD」のVTR250クラスは今年が最終開催年。名実ともに最後のレースとなった今回は上平真と樋口圭祐がバトルを披露した末に上平がトップチェッカー。上平が最後のVTR250クラスチャンピオンに輝いた。

「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」と「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」ももちろんフルコースを舞台に開催された。公式予選では「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」の岸田尊陽と「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」の吉田和憲がコースレコードを更新。「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」の決勝レースでは岸田が後続を大きく引き離すと、予選中に自身がマークしたベストをさらに上回るファステストラップをマークした。また、「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」の決勝レースでも吉田が自身の更新したコースレコードをさらに更新する好走が披露された。

このように11月11日(土)は、フルコースを舞台に、エントラントたちの熱い走りを満喫できる一日となった。1999年に始まった“ファンラン”は今年が25周年。過去最高の参加台数を集めた「NEO STANDARD」をはじめ、区切りの年の“ファンラン”が無事に全日程を終了した。



FUN & RUN Mix Big/EXPERTスターティンググリッド



2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. NOVEMBER

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

レースレポート-1【レース競技】

FUN & RUN Mix Small / EXPERT

公式予選では岸田尊陽が2番手以降を8秒605も上回る2分22秒723をマーク。その岸田と2番グリッドスタートの宮島伸也が横並び状態でスタートしていく。岸田がホールショットを奪うと、オープニングラップから後続を引き離すことに成功。岸田、宮島、5番グリッドスタートの清水省作が等間隔状態に。その後方で林規夫と大竹洋司がバトルを続けながら徐々に清水に接近。林をパスした大竹が清水をもパスするが、その後もその3台によるバトルは続く。トップを独走する岸田は終始リードを広げ続けると、決勝レース中に2分21秒718のファステストラップをマーク。予選で自身がマークしたコースレコードをさらに更新した岸田が堂々の優勝を決めた。



Mix Small総合表彰式 (優勝: 藪谷文彦、2位: 竹廣草生、3位: 沢下智樹)
Mix Smallカテゴリ別表彰式 (Small I優勝: 藪谷文彦、Small II優勝: 宇佐美有年)



Mix Small EXPERT総合表彰式 (優勝: 岸田尊陽、2位: 宮島伸也、3位: 林規夫)
Mix Small EXPERTカテゴリ別表彰式 (I-EXPERT優勝: 岸田尊陽、II-EXPERT優勝: 矢野正幸)

※表彰式は総合・カテゴリを合同で実施しています。
※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。
※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. NOVEMBER

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

レースレポート-2【レース競技】

FUN & RUN Mix Big / EXPERT

公式予選でコースレコードを更新した吉田和憲が絶妙なクラッチミートを披露して、ホールショットをゲット。その吉田に4番グリッドスタートの久積基宏、3番グリッドスタートの楠留維と続いてオープニングラップを帰ってくる。吉田はすぐに単独トップに。久積、楠も単独2番手、単独3番手となる。吉田は予選時のタイムに匹敵する好タイムで周回を重ね、後続を引き離し続けると、3周目には2分18秒287をマーク。予選中に自身がマークしたコースレコードをさらに更新することに成功する。終始安定した走りを披露し、後続に6秒584のアドバンテージを築いてファイナルラップへと突入した吉田が大きく立ち上がってトップチェッカーを受けた。



Mix Big総合表彰式 (優勝:楠留維、2位:杉本慎平、3位:西溜英夫)

Mix Bigカテゴリー別表彰式 (Big I優勝:杉本慎平、Big II優勝:楠留維、Open優勝:西溜英夫)



Mix Big EXPERT総合表彰式 (優勝:吉田和憲、2位:久積基宏、3位:内藤雅人)

Mix Big EXPERTカテゴリー別表彰式 (Big II EXPERT優勝:内藤雅人、Open EXPERT優勝:吉田和憲)

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。

※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. NOVEMBER

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

レースレポート-3【レース形式競技】

NEO STANDARD<Ninja250R/YZF-R25>

公式予選の終盤で自己ベストを更新した山本晃久、鳥居典生、中村和悦の3名がフロントローを獲得。2番グリッドスタートの鳥居がスタートで出遅れる。3番グリッドスタートの中村がポールスタートの山本の前に。7番グリッドスタートの杉島潤が中村の背後に接近し、中村、杉島、6番グリッドスタートの鈴木克基／志村誠組の志村のオーダーでオープニングラップを終える。

中村と杉島が集団を抜け出すことに成功。その2台は周回ごとに後続を引き離し続ける。鳥居が3周目終了時点で3番手に浮上。鳥居は5周目になると杉島に接近。中村、杉島、鳥居、細川和彦／本田知英組の本田がトップグループとなる。まず杉島と鳥居がビットへ。中村と本田も7周目終了時点でビットに入る。これにより鳥居がトップに。

その鳥居がトップチェッカーを受けると同時にクラスウィナーに輝き、YZF-R25チャンピオンに輝いた。Ninja250Rクラスでは総合3位に入賞した細川／本田組がウィナーに。総合5位の山本がNinja250Rクラスチャンピオンを決めた。

- ※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。
- ※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。
- ※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



NEO STANDARD<Ninja250R> (優勝:細川和彦／本田知英、2位:山本晃久、3位:増田啓太)
NEO STANDARD<Ninja250R> Women's賞 (道中愛／道中辰彦)



NEO STANDARD<YZF-R25> (優勝:鳥居典生、2位:中村和悦、3位:杉島潤)



2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. NOVEMBER

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

レースレポート-4【レース形式競技】

NEO STANDARD

<CBR250R/VTR250>

ポールポジションからスタートした福山京太／鈴木克正組の福山、2番グリッドスタートの金田博行が横並び状態で1コーナーへ。金田がホールショットを奪う。福山、金田、5番グリッドスタートの安田周平、4番グリッドスタートの樋口圭祐、3番グリッドスタートの上平真のオーダーでオープニングラップを終了。福山と金田は集団を抜け出すことに成功する。その2台は激しく順位を入れ替えるバトルを展開。

若干後方で安田が単独3番手に。その安田が4周目の1コーナーでオーバーランしたことにより、樋口と上平が3番手、4番手になる。5周目のメインストレートで上平が樋口をパス。5周目終了時点で金田と福山、上平と樋口がピットへ。安田がピットに入った後の順位は上平、樋口、安田、金田のオーダーとなる。

樋口との差を広げ続けた上平がトップチェッカーを受けると同時にクラスウィナーに輝き、最後のVTR250クラス・チャンピオンも決めた。CBR250Rクラスを制したのは総合3位の金田。金田がクラスチャンピオンとなった。

- ※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。
- ※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。
- ※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



NEO STANDARD<CBR250R> (優勝:金田博行、2位:安田周平、3位:長瀬拓海／原田晃好)



NEO STANDARD<VTR250> (優勝:上平真、2位:樋口圭祐、3位:久保賢治)



2023 FUN&RUN! 2-Wheels

11 Sat. NOVEMBER

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

レースレポート-5【レース形式競技】

NEO STANDARD <G310R>

47台という多くの参加台数を集めたことにより、4台の予選落ちが出た現在最も人気の高いこのカテゴリー。これまで2戦連続優勝を決めている佐々木龍人がポールポジションを獲得する。その佐々木がホールショットをゲット。しかし松浦光利／谷野昌俊組の松浦がS字コーナーでトップに。その松浦を抜き返した佐々木、松浦、3番グリッドスタートの小牧寛由、5番グリッドスタートの原田伸也、4番グリッドスタートの伊藤翼、7番グリッドスタートの栗田学のオーダーでオープニングラップを帰ってくる。

徐々に佐々木と松浦が後続を引き離しにかかるが、原田と小牧をパスして3番手に浮上した伊藤がその2台に接近。3周目のシケインで伊藤が松浦、佐々木を立て続けにパスしてついにトップに浮上する。松浦と伊藤が8周目終了時点でピットイン。続く9周目終了時点で佐々木がピットに入る。終盤は小牧と伊藤が何度も順位を入れ替えるバトルを披露。ファイナルラップまで続いたその2台によるバトルだが、

伊藤が0秒072という僅差で優勝を決め、チャンピオンは佐々木の頭上に輝いた。

- ※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。
- ※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。
- ※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



NEO STANDARD<G310R> (優勝:伊藤翼、2位:小牧寛由、3位:松浦光利／谷野昌俊)
NEO STANDARD<G310R>Women's賞 (林夢乃)